

隊員たちに突撃インタビュー！



空き家対策・移住促進コーディネーター

瀬戸口 恵美子さん

SETOGUCHI EMIKO

福岡県出身。大阪の外国語大学卒業後、国際協力の公益法人でアジア・アフリカ等途上国の行政官・企業関係者対象の人材育成事業や、国際協力について、またSDGsについて理解促進のためのイベントの企画・開催などを担当。

「ミニメモ」
料理が好き。
オフの日は
道の駅で
まったり。



地域おこし協力隊員の瀬戸口さん、シンさんに、本市に着任したそれぞれの思いや今後の意気込みについてお話を伺いました。



空き家対策・移住促進コーディネーター

シン ジョングンさん

SHIN JEONGGEUN

韓国出身。大学で日本語を専攻し、半年間横浜に留学。卒業後、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）に参加し、国際交流員として長崎県対馬市にて3年間勤務しながら通訳・翻訳、語学講座、イベント企画等の仕事を行う。



「ミニメモ」
バイク、ドラ
イプが好き。
オフの日は
ランニング。



—本市の地域おこし協力隊に
応募された理由は？
瀬戸口 柘原地区出身の夫と垂
水市を初めて訪れた時、柘原小
学校の校庭から見た景色に衝撃
を受け、一瞬で垂水市のファン
になりました。私も福岡出身な
ので、いずれ一人で九州に戻り
たいと思っていました。そして、
その後も垂水市を訪れる度に空
き家や空き地が増えていく状況
を知り、早く移住しよう、と応
募を決意しました。地域おこし
協力隊の活動を通じて垂水市の
ことをもっと深く知り、市民の
皆様との関係も築いて、移住後
私たちが自身も垂水市の生活を充
実したものにしたいと思っています。
—空き家問題についてどう思
われますか？
瀬戸口 空き家は上手に活用され
れば地域の活力や賑わいにも繋が
るでしょうが、放置されてしまっ
と景観、防災、安全などの面で、
所有者さんや地域にとってのリス
クにもなると思います。所有者さ

さらに盛り上げていけるのでは
ないでしょうか。そういう点か
ら空き家の問題は工夫次第、無
限の可能性を持っていると思っ
ます。
—垂水市の今時点の印象は？
シン 何でもできる、自分にピッ
タリな場所だと思っています。まわ
りの方もとてもフレンドリーで
先に声を掛けてくださり、垂水
市の温かさをとても感じていま
す。市外へのアクセスも便利で、
行く道や景色もとても綺麗で、
今は毎日旅行気分です。垂水市の生
活を満喫しています。
—今後の意気込みについて教
えてください。
シン 私が感じた垂水市、そし
て空き家の魅力を上手くお伝え
し、より多くの方々が空き家を
新しい夢の拠点として活用でき
るよう、サポートしていきたい
です。まだまだ、垂水市につい
て分からないことばかりですの
で、皆さまと交流しながらいろ
いろ勉強していきたいと思いま
す。よろしく願いいたします。
—垂水市の今時点の印象は？
瀬戸口 錦江湾と桜島のある垂
水市に住むことに憧れてきたた
め、それらを眺めながらの日々
の通勤さえ楽しいのですが、地
元の農産・水産品がとにかく新
鮮でおいしいこと、温泉に頻繁
に入れること、一日中鳥の音が
聞こえることに加えて、買い物
や病院など日常生活にも不便の
ないことも、推しポイントとし
て増えました。
—今後の意気込みについて教
えてください。
瀬戸口 早速何軒か空き家を訪
問しましたが、立地や景観、ゆ
とりのある敷地など、移住者に
とって魅力のある空き家が多く
あります。垂水市の魅力とても
にそれぞれの空き家の持つ魅力
をしっかりと発信していきたいで
す。利活用が進んで空き家バン
クへ登録したいと思っています。だ
けるよう頑張ります。

—本市の地域おこし協力隊に
応募された理由は？
シン 国際交流員として対馬で
活動している間、職場に地域お
こし協力隊の方々があり、一緒
に地域活性化のためのイベント
や仕事をする中で、大きなやり
がいを感じていました。そして、
任期満了を迎えるころには、引
き続き日本で地域に貢献しなが
ら交流ができる仕事をしたいと
思うようになり、自然と地域お
こし協力隊という道に目を向け
るようになりました。垂水市を
選んだ理由は、私のパートナー
が鹿児島県に住んでおり、この
地域に親しみを感じたことが
きっかけです。
—空き家問題についてどう思
われますか？
シン 少子高齢化によってこれ
から空き家はどんどん増えてい
くと思います。しかし、その中
にはいろいろな魅力的な家もたく
さんあります。それを上手くPR
し、新しい人を呼び込む、新
しい風を持ち込むことで地域を

さらに盛り上げていけるのでは
ないでしょうか。そういう点か
ら空き家の問題は工夫次第、無
限の可能性を持っていると思っ
ます。
—垂水市の今時点の印象は？
シン 何でもできる、自分にピッ
タリな場所だと思っています。まわ
りの方もとてもフレンドリーで
先に声を掛けてくださり、垂水
市の温かさをとても感じていま
す。市外へのアクセスも便利で、
行く道や景色もとても綺麗で、
今は毎日旅行気分です。垂水市の生
活を満喫しています。
—今後の意気込みについて教
えてください。
シン 私が感じた垂水市、そし
て空き家の魅力を上手くお伝え
し、より多くの方々が空き家を
新しい夢の拠点として活用でき
るよう、サポートしていきたい
です。まだまだ、垂水市につい
て分からないことばかりですの
で、皆さまと交流しながらいろ
いろ勉強していきたいと思いま
す。よろしく願いいたします。



企画政策課
地域振興係
前田 主査

2人と共に働く市職員から一言

お2人の活動をサポートすると共に、空き家問題の解決や移住促進に向けた施策に取り組んでまいります。お気軽にご相談ください！

2. 地域活性化に関する活動

令和6年度から本市の地域おこし協力隊（多文化共生まちづくりコーディネーター）として活動する隊員と共に、自治会や地域行事、コミュニティ活動へ参加し、地域活性を図ります。

1. 空き家と移住に関する相談窓口

空き家所有者の方には適正管理や制度の案内、相談対応を行い、利用したい方には空き家バンクの登録物件をご案内します。分かりやすく、利用しやすい空き家バンク制度を目指して垂水市公式ホームページ等の見直しも行う予定です。また、移住希望者の方には、移住者ならではの視点による生活アドバイスや各種支援制度をご案内します。

Topics
2人の今後の活動
今後2人が行っていく主な活動
内容を紹介いたします。